



# 二葉幼稚園 園のたより



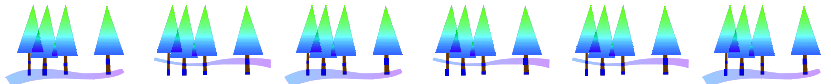
## 1月の聖句

いっしょに よろこんでください

ルカ15章6節

## 1月のさんびか

どんなどきでも こどもさんびか改訂版129



### つたえあう

新しい年になり、新たに1月が始まりました。皆様はどんなお正月を過ごされましたか？さて、年末に発行した「ふふふのふたば・ほのぼの便り」に2学期から取り組み始めた「こどもかいぎ」についての記載がありました。そもそも「こどもかいぎ」って？と思われた方は是非、検索してください。以下、一連の映画に関わるYouTubeをご覧頂だけでも是非…。

10年以上に渡り「命と家族」をテーマに映画等を製作されている豪田トモ氏が、4年の歳月をかけて『こどもかいぎ』というドキュメンタリー映画を作られました。ある保育園の子ども達が、『こどもかいぎ』と呼ばれる「対話」の場を通して成長していく物語です。この製作を通じて豪田氏は、正解のない未来を子ども達が生きていく為には「答え」を教えるのではなく「答えへのアプローチの仕方」を伝えていく必要があります、その1つが「対話」だと。(こどもかいぎHPより)

2学期、◇先生がこの映画情報を教職員に紹介、何人かが観に行き、感動。私は監督の名前から、10年程前に見て以来ずっと心に残っている映画「うまれる」のシーンが蘇り、導かれるように2度映画館に足を運びました。園ではずっと以前から、例えば今月の聖句、歌詞、日常の出来事等について、各クラスで日々「対話」することを大切にしてきました。それをベースに、少人数の子ども達が輪になり、テーマについて自由に話し合う『こどもかいぎ』では、個々の子ども達の発話が一層増え、伝え合う喜び、友達のことを知る楽しさ、中にはすっとなんげな発言で大爆笑の場面もあり、豊かな交わりとなっています。

第1回目、年中での「こどもかいぎ」では、「幼稚園ってどんどころ？」から始まったものの、園の中にある冷蔵庫が話題に上がると各家庭の冷蔵庫の中身トークに変わり、突然「なんで電気がこんなに沢山あるの？」との疑問が出され、そこから家の電気トークに移り…するといつも控え目な◆君「ちょ、ちょっと待って！ちょっと僕の、僕の話聞いた方がいいよ！」と家に沢山ありすぎる物トークに話が進み…ファシリテーター役はいつの間にか保育者から子どもに変わって行きました！会議が終わった後興奮冷めやらぬ◆君、「こどもかいぎ楽しかった！またすぐやりたい！」と私にまで伝えに来ました。「家族」をテーマにした年長では、「♡が話したい時にちゃんと話を聴いてくれるんだ」「手紙書くといつも『ありがとう』ってぎゅっとしてくれる」等がロクに話され、同テーマの年中では「一番話したくなる人」や「私達、皆家族になろうよ！」と思わず笑みがこぼれたり、ジ〜ンとする発言もありました。

一方、元旦すら災害や戦火に怯える悲痛な現実の中で生きる子ども達があります。

目の前にいる子ども達が大人になった時に、武器ではなく、言葉でもって思いを伝え、祈りつつ知恵をもって、互いが活(生)きる道を見出すことができるようにと切望します。私達が平和を願いつつ、できることをコツコツと続ける、その一つが「伝え合う」ことではないでしょうか。まずは「おはよう」「ありがとう」「今日も会えた」と一緒に喜び感謝しながら【園長】